

旅客船編

陸にはない経験だらけ。 超ド級のスケール！

見渡す限りの海原を目的地に向かって進む、雄大なフィールドで働ける仕事。
普段の生活と経済の基盤を支える重要なライフラインだ。
講習を受ければ船員になることができる。
自然と向き合い、大勢の乗客や荷物、航海中の乗組員たちの
安全を守る責任がある分、待遇も厚い。

も 2
MO 2



フェリー はやと
FERRY HAYATO

ゴ"ん"ゴ"ん"ゴ"ん"ゴ"ん"ゴ"ん

海の道に行く
楽しさを
感じよう!



石崎汽船株式会社
前田 海都
HAITO MAEDA

社歴

1年



お客様の人数や貨物の量、フェリーなら乗せている車の台数によっても、同じ船でも舵の切り方が変わるんですよ。



実は船酔いしやすい体質だったのですが、さすがに今はもう酔わなくなりました。すっかり「海の男」になりましたね(笑)。



針路変更の際、逆方向に舵を切り勢いを調整する「当て舵」という技があります。そんな感覚を研ぎ澄ませるのも操舵の醍醐味です。

セブパイの(裏)の顔



目指せ
大漁!

海は俺の庭! 狙うは海のギャング?!

最近釣りを始めました。まだ大物は釣ったことがありません。仕事も趣味も海に関係するもので、我ながら本当に海が好きだなあ、と実感します。これまでどちらかというとインドア派だったので、さらにアウトドアな趣味にも挑戦してみたいです。

同じ航海はひとつもない。
厳しくも美しい海で働くロマン

海は近くて育ったこともあり、小さい頃から海が大好きで、「仕事をするなら絶対に海で」とずっと思っていました。だから中学卒業後は迷うことなく専門学校に進みました。今は夢が叶い、毎日その喜びを噛み締めながら働いています。自然が相手の仕事なので、やはり難しいなと思う場面にも直面します。特に瀬戸内海は潮の流れが激しいので気が抜けません。でも自然の中だからこそ出会える感動がたくさんあります。例えば海の上で見ると、夕日、星座や月の美しさは、何度見ても見飽きることなく心を打ちます。海の上では、決まった航路の航海でも、実は同じ航海はひとつもありません。毎回見える景色が違うからです。いつも新しい気持ちで臨むことができます。

船乗りはやはり、特殊な仕事かもしれません。でも難しいからこそ、一つひとつの航海で充実感と達成感を得られる仕事なのです。興味があればぜひ挑戦して、一緒にその気持ちに分かち合いませんか!



■ 旅客船乗組員の仕事の内容

船を動かすのは船員たちのチームワーク

旅客船の国内利用者数は年間延べ約1億人。航空旅客数を上回る数だ。旅客船には、乗客と一緒に車も乗せられるフェリー、高速船、水中翼船のほか観光船や遊覧船など、さまざまな種類がある。

その船上では最高責任者である船長を中心に、航海士、機関士、通信士など、それぞれの専門知識や技術をもった船員が協力し合い、一隻の船を動かしている。チームワークを保ちながら、自分の役割をしっかりとこなす責任感が重要だ。航海士は船の操舵をはじめ、積荷と船体の管理、レーダーやGPSなどの航海計器や海図の管理と整備なども行う。航海日誌などの書類の記録も航海士の仕事だ。気象や潮流の変化も敏感に察知しながら安全な航海を指揮管理し、乗客や貨物を守りながら海の上を進む。

■ 旅客船乗組員の展望

「地球に優しくて力持ち」の頼もしい船

四方を海に囲まれた日本では、海運は身近でかつ有効な移動・輸送手段のひとつだ。特に島で暮らす人々にとっては、船が唯一の手段というケースも多い。また陸上輸送に比べ、エネルギー効率が圧倒的に良く、環境に優しいのも海運の特長だ。地球温暖化の原因となる二酸化炭素や酸性雨の原因となる窒素酸化物の排出量が極めて少ない。環境保全の面からも、船への期待はますます高まっているのだ。

■ 旅客船操縦士に必要な資格

関連資格…海技士(航海)



■ 旅客船操縦士にはこうすればなれる

専門の教育機関で知識と技術を学ぼう

船員は大きく、職員(オフィサー)と部員(クルー)に分けられ、職員は国家資格である海技士の資格が必要だ。海技士資格は業種によって「航海」「機関」「通信」「電子通信」の四つがあり、操舵を行う航海士の場合、「海技士(航海)」の免許が必要になる。ちなみに船長になれるのは、この海技士(航海)免許を持つものだけだ。航行する区域や船の大きさなどによって1級から6級に分かれ、1級が最も難易度が高い。国家試験は年に4回行われ、筆記試験、口述試験、身体検査がある。

また一定期間実際に船に乗って航海実習に従事する「乗船履歴」も必要なので、短期間で船員の仕事に就くには中学や高校を卒業後、商船系の学校で学ぶのが一番の近道だ。国内を運航する内航船員になるための機関は「独立行政法人海技教育機構」といい、全国に4校ある海上技術学校と3校の海上技術短期大学校、1校の海技大学校がこれにあたる。航海士への一歩を踏み出そう。

